ターミナルケアの基礎知識

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

100%訪れること

人生に死は一度きり！

・人は必ず亡くなる。
それは例外なく100%訪れること。

・死ぬことは一人1回だけ。誰も経験のない
未知なもの、かつ誰一人免れられぬ宿命。

・人は生きている限り人は、出会い（新しい出会い・再会）や
別れ（離別・死別）を経験。

・死は、マイナスな感情や事象だけでなく周りの人（家族や医療・福祉従事者）などに新しい気づき・価値観を与えてくれることもある。

世間の
ものさし
＋
身近な
人の死
→
自分の
ものさし

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

死を考える時間が長い

平均寿命　－　健康寿命※

＝「誰かの支援や援助がないと生きていけない期間」

女性→約13年　（2016年の健康寿命＝74.79歳）

男性→約9年半（2016年の健康寿命＝72.14歳）

- 人生を振りかえる
- これからの人生を考える

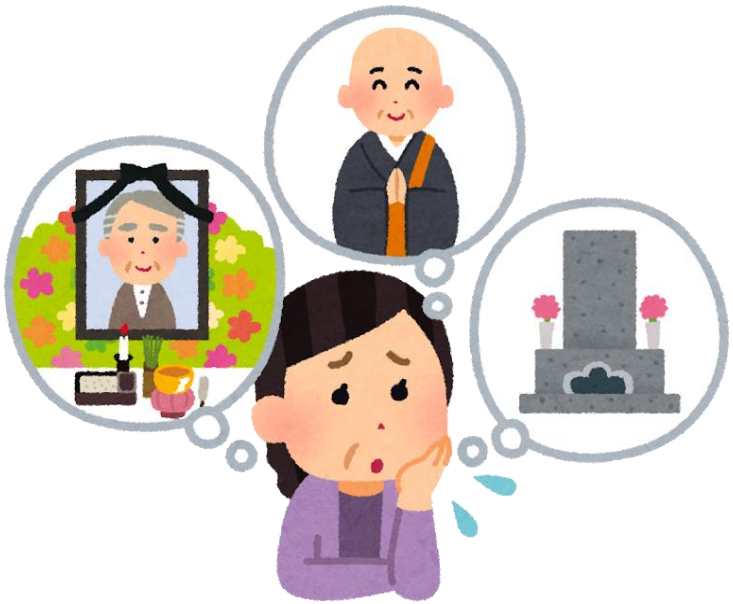
生と死は対義語ではなく
生の先に死がある

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD　All Right Reserved

未知なもの

わからないこと知らないことに
人は不安を覚える



◆医療や福祉の従事者
＝死と関係が深い存在

家族を亡くした深い悲しみにある心療内科の患者や在宅で生活されていた利用者が亡くなられたことをご家族からお聞きするなど、直接ではなくとも間接的にでも死に対して関わることは多い

◆死に関しての捉え方を良い方向に

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「生と死」 まとめ

死は生の延長にある自然な事

- 死は生の延長にあり、死は誰にでも訪れる自然な事。
- 生と死はつながっていますから、人生最後の終末期だからと言って特別な事ではない。
- 終末期になる前から、ケアはその人らしい人生になるように寄り添っていきましょう。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

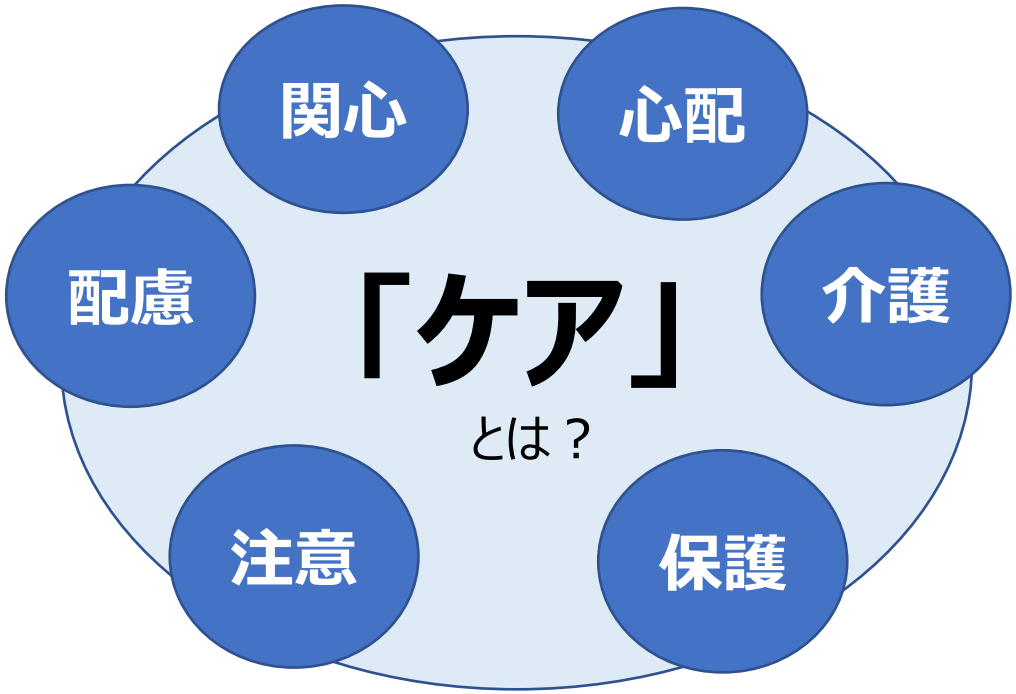
死生観

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ケアの意義

医療は命をつなぎ育てる
福祉は命を活かし育てる

普段私たちが行っている人に対するケアは、命を尊ぶところから始まります。



つまり・・・

●人は１人では生きていけない。お互いにケアしながら生きている。

●ケア＝限りある命と向き合うことそのもの。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

死生観は様々

伝統的な死生観

1、円環的

輪廻転生のような魂が循環し故人の霊は子孫を守護する存在などに親しみを持つ。

2、自然神話的

死後は土や星など自然に帰るという考えがあり、日本人はとくに自然に対して親和性が高い民族とされています。

3、重層的

一人の人間の中でも様々な考えがある状態。死んだら無になると言いつつも、墓参りを欠かさない人など、言動と行動の矛盾あり、思想が折り重なっている。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

死生観を大切にする

人が科学的に物理的に頼るものが無くなった時にできること ・・・ 「祈ること」だけ

精神的なものに心が重きを置くようになります。

ご利用者様の**死生観**（生き方、死に方に対して大切にしている考え方）は守りましょう。

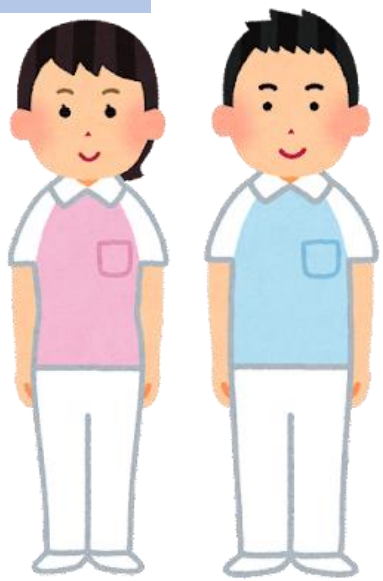
三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

職員とご利用者様ではなく

お互いにケアをしている

ケアする側



ケアをする

たくさんの気づき・
癒し

ケアされる側

- 終末期ともなると、その命の灯に接してケアする側が教わることはとてつもなく大きい。
- それは自身の人生に対しても影響を受けるほど。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

自己理解

たゆまぬ自己点検をしよう

ご利用者様の死生観とケアする側の価値観とが異なるときもあります。

役に立ちたい・
なんとかしてあげたい ！

一方的な、独りよがりな関わりを生んでいないだろうか？

専門職として、できること・できないことをしっかりと把握し、自身の役割やかかわりの意義を常に自問自答していくことが大切。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「死生観」 まとめ

ご利用者様ひとり一人に死生観がある。

●現場では常日頃繰り返されるコミュニケーション
の中で寄り添い、迷い、戸惑い、受け入れましょう。

●ご利用者様の死生観の中で、あるべきその人らしい
人生を考えていきましょう。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

死に向き合うことの意味

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

不安や恐怖は心の変化

ご利用者様本人は、日々身体的・精神的・社会的な観点からできないこと、やれないことが増えてくる中で、日々後悔や不安に悩まされています。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

死を不可避なものと認識する事

やがて訪れる死というもの

＝**「運命から免れない・逃げられないもの」**

- 今という瞬間の生に対して濃密に意識
- 生きていること自体がとてもありがたい
- いま、出来ていることや行っていること自体が感謝に値すること

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ケアに当たる私たち ≠ 単なる「支える人」

最期のときを迎えるご利用者 ≠ 単なる「支えられる人」

目の前のご利用者様が

・死に向き合うと同時に、生を全うする事に向き合う

・その過程は多くのエネルギーに満ちている

支える職員本人がそこから学ばせていただくことも多いでしょう。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

今ある生を愛おしむ

死ぬという運命を変えること

→できない！

どういう気持ちで死んでいくか？

→各人の自由！

死ぬまでにどんな気持ちを持つか

→各人の自由！

- 老いることや病むことに心が翻弄されるのではなく、今ある生を愛おしむことができればうれしいもの。

- 私たちケア従事者も目の前のご利用者の生を愛おしみ寄り添うことで、自身の生をいとしむことになれば。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「死に向き合うことの意味」 まとめ

死に向き合うことで、
今ある生を愛しみ感謝する事

その方がその方の人生を生ききることができるよう、私たち支援者が命を大切に考え、死に対してしっかりと向き合う姿が必要です。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ターミナル期とは

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ターミナルとは

ターミナル
↓
「終わりの」「終末の」「末期の」

ターミナル期＝人生においての終末期

ターミナル期にケアすることを
「ターミナルケア」と呼びます。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ターミナル（終末）期の定義

１、複数の医師が客観的な情報を基に、治療により病気の回復が期待できないことを判断すること

２、患者が意識や判断力を失った場合を除き、患者・家族・医師・看護師等の関係者が納得すること

３、患者・家族・医師・看護師等の関係者の関係者が死を予測し対応を考えること

引用：終末期医療に関するガイドライン
～よりよい終末期を迎えるために～

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ターミナル期は

始まりは明確ではない
期間は様々

●終末期を期間で決めることは必ずしも容易でなくまた適切ではない。

●とは言え、どのように対応するのかあらかじめ考えておくことはとても大切なこと。

●あらかじめ考えておかなければ、「納得する事」や「対応を考えること」に困難が伴う。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

支援者として

ターミナル期を学ぶ

利用者様の人生の最期を考えるとき、以下２点を意識しましょう。

「今までにどの様に生きてきたのか」
「どのように死に向かっていきたいのか」

医療・福祉従事者も終末期について学び
研鑽していくことで、今ある生に対して
精一杯の支援ができるのではないでしょうか？

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「ターミナル期とは」 まとめ

ターミナル期とは・・・

病気の回復が期待できないこと。

●ターミナル期＝客観的な情報により医療において回復の期待がなく、本人・家族含め周りの医療・福祉従事者が死を予測し対応すること。

●その期間は始まりは明確ではなく疾病により様々である。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「緩和」・「ホスピス」・「エンドオブライフケア」各ケアの共通点と違い

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

様々なケアの概念

緩和ケア
ホスピスケア
エンドオブライフケア

様々なケアの概念の中に
「緩和ケア、ホスピスケア、エンドオブライフケア」があります。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

緩和ケア

生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族の**クオリティ・オブ・ライフ（QOL：生活の質）**を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し、的確に評価を行い対応すること。（2002年WHOによる定義）

特徴

１.患者と家族の苦痛を予防し、和らげることを目的としたケアである。

２.終末期に限ったケアではなく、生命を脅かす疾病に罹患した時から対象となる。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ホスピスケア

「ホスピス」＝ 1967年にイギリス・ロンドンで末期がん患者の苦痛を取り除くために創設された施設。

- 専門家がチームを組んで患者の痛みを和らげるケアを実践してきた。
- その歴史は古く、キリスト教を信仰し慈善活動に熱心なヨーロッパにおいて、緩和ケアをおこなう施設として広く認知されてきた。

生命の危機に瀕している患者が様々な苦痛から解放され、残された日々を人間としての尊厳を保ちながら、心身ともに安楽に過ごすことができるようにすることを目的としたケアです。

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

エンドオブライフケア

「エンドオブライフケア」＝ 診断名、健康状態、年齢に関わらず、差し迫った死、あるいはいつかは来る死について考える人が、生が終わる時まで最善の生を生きることができるように支援すること。

死について考えこれからの人生をどう生ききるかを考えているすべての人が対象となる。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

終末期におけるケアの概念

ケア	時期	期間の長さ	対象	目的
緩和ケア	生命を脅かす疾病に罹患した時から	長い	本人と家族	苦痛を和らげること
ホスピスケア	余命が短いことが明らかになってから	最も短い	本人と家族	身体的・精神的・社会的など総合的ケア
エンドオブライフケア	死について考えるすべての期間	最も長い	死について考える人すべて	最善の生を生きることができるように支援
ターミナルケア	人生の終末期を迎えた時期	短い	本人と家族	穏やかに過ごせるように支援

いずれのケアも本人や家族の苦痛をできるだけ軽減し、疾患の治療よりも本人のＱＯＬ(生活の質）を優先して考える。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

ターミナル期の場所

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

自宅で最期を迎えたい人

54.6%

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「死」が非日常に

8割の人が病院で死を迎えている

人生の中で死と関わることが少ない日常・・・

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

その人らしい最期のために

ひとり一人のご利用者様の人生を、
その人自身が良い幕で閉じられるように…

三幸福祉カレッジ

日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

最期の時を過ごす場所

最期の時を過ごす選択肢が増える。

ターミナルケアを行うその時が、ご本人にとって

最良であるように皆様方が支えていきましょう。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved

「ターミナル期の場所」 まとめ

時代と共に最期を迎える場所が変化してきています。

今後は、さらなる看取りの場所の変化もあると思います。

皆様がそれぞれ活躍している場で、ターミナルケアに、丁寧に向き合ってくれればと思います。

三幸福祉カレッジ
日本教育クリエイト co, LTD All Right Reserved